

【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

演 題 インプラントによる咬合再構築を行った一症例

演者名 古田洋介

日 付 2011年07月26日

keywords

1. GBR
2. クラウンレンジスニング

抄 録

主訴が、デンチャーが嫌で、インプラント治療を希望されて来院された50代の女性です。

前歯部のGBR、残存歯のクラウンレンジスニングなど全顎的な咬合再構築を行いました。

顔貌の審美性の回復を考え、術前と術中に可撤式の歯肉付きBrを勧めてみましたが拒否され、結果は、バナトゥースと回復されないままの顔貌になりました。

患者さんは、着脱式ではないという事だけで、一応満足されているようですが、反省する点の多い症例となりました。

諸先生方のご指導ご鞭撻よろしく申し上げます。